



JAあそだより

平成24年2月

今号12ページ主な内容

- 祈願祭・仕事始め式
- 熊本県家の光大会でJA阿蘇2部門で受賞
- 熊本県農業コンクール表彰式
- 各生産部会・女性部の活動ほか



大自然の芸術「仙酔峽の氷柱」



JA 阿蘇農業協同組合

本所 〒869-2612 熊本県阿蘇市一の宮町宮地387-5
TEL 0967-22-6111/FAX 0967-23-1088

新年の祈願祭・仕事始め式



厳かに執り行われた新年の祈願祭

平成24年新年の祈願祭および仕事始め式が1月6日、本所駐車場で行われました。神事が厳かに執り行われた後、仕事始め式で工藤保雄組合長は「依然として厳しい農業情勢の中、T・P・P参加は国の形を変えかねない大きな問題です。国民全体の課題・問題として真摯に受け止め、継続して反対運動を進めていきたい。また農業の構造改革を進めていく中、協同組合の意義を再



新年の決意を述べる工藤保雄組合長

第59回熊本県家の光大会が1月11日、宇城市のウイングまつばで開かれ、家の光愛読者をはじめJA女性部、青年部、JA・連合会役職員ら約650人が参加しました。

同大会でJA阿蘇は、「地上」11月号特別運動優積JAと「ちゃぐりん」8月号特別運動優積JAの2部門で受賞しました。「第34回ちゃぐりん感想文全国コンクール」入賞者の表彰もあり、JA阿蘇管内より優秀賞を受賞した高



表彰を受ける岩下勇人常務

第59回熊本県家の光大会でJA阿蘇が2部門で受賞

確認し、地域に選ばれるため、組合員に頼られるために今一度ここで検証する大切な年です。風通しの良い農協を目指すために役職員手を取り合い、一丸となって乗り越えていきましょうと力強く新年の決意を述べました。



「ちゃぐりん感想文全国コンクール」入賞者の表彰

森中央小4年の中山さつきさんを含む5人の児童が表彰されました。また記念講演として、フィットネスビジネス研究所代表取締役の長野茂さんが「いつでも どこでも すぐできる 日常ながら運動で 体も心も脳も元気」と題して講演を行いました。

第53回全国牛削蹄競技大会 有働信宏さんに農林水産大臣賞

牛のひづめを削る技術を競う全国牛削蹄競技大会が10月26日、茨城県水戸市で行われ、有働信宏さん（山都町花上）が最優秀賞の農林水産大臣賞を受賞しました。



農水大臣賞受賞の有働信宏さん

同大会は日本装蹄師会主催によるもので、牛の歩き方やひづめの形からその牛に最も適した削蹄はどうあるべきかを判断する能力を競う「牛削蹄判断競技」と、実技を行う「牛削蹄競技」によりその技術を競うものです。大会には全国各地での予選を勝ち抜いた24人が削蹄の技術を競い合いました。

大会当日は風邪をこじらせ、また実技で当たった牛が興奮状態という厳しい状況での競技となった有働さんでしたが、的確な判断・削蹄で見事最優秀賞を手に入れました。

有働さんは「厳しい状況だったけれど、緊張することもなく普段どおりのことができた。優勝できてとてもうれしいです」と、受賞の喜びを語っていました。





↑経営体部門「優良賞」
中西洋介さん



↑経営体部門「優良賞」
奥松 修・新子さん



↑新人王部門「秀賞」
谷川洋一・充代さん



↑県農業コンクール大会表彰式の会場



↑「地域貢献賞」井 正吾さん



↑食と農部門「優良賞」
ひごむらさきブランド化研究会
(橋本和則会長)

地域社会を支え、地域振興に寄与 熊本県農業の持続的発展にも大きく貢献

第52回熊本県農業コンクール大会表彰式が1月24日、熊本テルサで行われ、JA阿蘇管内から新人王部門「秀賞」及び「農林水産大臣賞」に高森町の谷川洋一・充代さん、経営体部門「優良賞」に山都町の奥松修・新子さんと、阿蘇市の中西洋介さん、さらに食と農部門「優良賞」に高森町のひごむらさきブランド化研究会(橋本和則会長)、そして地域貢献賞に産山村の井正吾が選ばれ、それぞれの功績に対して主催者(熊本県・JA県中央会・熊日ほか)から表彰状と副賞が贈られました。

新人王部門で「秀賞」を受賞した谷川洋一さんは農業高校卒業後、九州沖縄研究センター(久留米)での研修を経て就農。両親と経営を分離し、両親が大玉トマトを共取出荷。自らはミニトマトを契約出荷し家族で安定的な経営バランスをとっています。

経営体部門「優良賞」の奥松さん夫妻は、阿蘇外輪山の高冷地地域で野菜の施設化に取り組んでいます。高冷地の気象を生かし用水確保と効果的な灌水を工夫、夏秋(ミニ中玉)トマト・ホウレンソウ体系を確立しました。

同じく「優良賞」を受賞した中西さんは、阿蘇地域で定着しつつある米・麦・大豆の2年3作ブロックローテーションの担い手です。また集落営農の担い

手となって、農作業受託の大規模経営にも取り組んでいます。

食と農部門「優良賞」のひごむらさきブランド化研究会橋本和則会長は、特産ナス「ひごむらさき」のブランド化と農家所得向上のため、都市消費者との交流会やマーケティングによる販路拡大活動をJAや行政と連携しながら展開しています。

「地域貢献賞」の井正吾さんは、転作物としてホウレンソウを導入し部長として部会員の栽培技術向上に取り組み、産山のホウレンソウ産地化に尽力したことや、山鹿酪農組合の組合長として組合の6次産業化の連携システムの構築などに寄与しました。



写真右：谷川さん夫妻事例発表の1コマ

各生産部会で「反省会・総会」を開催

■中部ミニトマト部会
販売額4000万円
前年比114%を達成



挨拶する宮下邦夫部会長

J A阿蘇中部ミニトマト部会は12月14日、2011年反省会及び総会を阿蘇市で開き、部会員をはじめ行政・市場・JA関係者ら25人が出席しました。11年は出荷数量2万ケース（1ケース3kg/前年比107%）、販売額4000万円（同比114%）と前年を大きく上回りました。

宮下邦夫部会長は挨拶で、「11年は収量も多く、単価ともに安定した生産販売ができた。今後も肥培管理を徹底し、障害果の発生を減少させ、高品質・安定出荷に努めたい」と述べました。

市場関係者からは「3kgバラ詰めの出荷形態について、業務用のシェアも多く評価が高い。品質・食味ともに申し分なく次年度も期待している」と評価を得ました。

最後に次年度部会生産目標として、平均で108当たり5tの出荷を目指すことを確認しました。

■中部トマト部会
高品質・安定供給で
販売額11億9000万円



挨拶する渡辺利幸部会長

J A阿蘇中部トマト部会は12月22日、2011年反省会及び総会を阿蘇市で開き、部会員や行政・市場・JA関係者ら150人が出席しました。

11年は出荷数量で84万ケース（1ケース4kg/前年比106%）、販売金額11億9000万円（同比109%）と、前年を大きく上回りました。

渡辺利幸部会長は「販売金額で1億円を突破し、109%と前年を大きく上回り、大変良い生産販売ができた」と挨拶しました。

市場関係者からは「シーズンを通して安定した供給をして頂き、消費地と

しては大変ありがたい。品質も安定しており、夏場のトマトの消費拡大に大きく貢献できた」との評価がありました。

次年度の生産部会目標は、部会平均で108当たり10t、総出荷量85万ケースを目標としています。

当日は、部門ごとの表彰も行われ、次の方々（敬称略）が表彰されました。

▽総販売高部門 山本義輝

▽栽培技術部門 小野勝義・竹部大作

後藤修・甲斐澄雄・嶋川一郎

▽努力賞 城戸俊博・森健一・松野正美

▽功労賞 後藤光春・甲斐惟業・西村友次・今村アイ子



中部トマト部会各部門の表彰式

■中部キュウリ部会
約3万ケースを出荷
販売額は4000万円



挨拶する立山崇章部会長

J A阿蘇中部キュウリ部会は12月15日、2011年反省会及び総会を阿蘇市で開き、部会員・市場・JA関係者ら50人が出席しました。11年は出荷数量で約3万ケース（1ケース5kg/前年比101%）、販売高4000万円（同比102%）となりました。

立山崇章部会長は開会に当たり「次年度は有利販売と長期的な栽培に頑張ってください」と挨拶しました。また、担当の井手友和指導員も「次年度の栽培計画を早めに立て、計画的栽培に努めて頂きたい」と話しました。



■中部イチゴ部会
「高原イチゴ食味審査会」開催



食味審査会で品質・パックの詰め方などを審査する生産者の皆さん

J A阿蘇中部イチゴ部会は1月11日、本所営農部でイチゴの食味審査会を開き、生産者や行政・J A関係者ら約50人が参加しました。

同審査会は例年の部会行事として年明けの消費が鈍り、消費宣伝会(販売促進会)の計画ができた時期に行っており、宣伝会に向けて品質・食味・糖度のほかパックの詰め方など、生産者間での違いがなくなるよう規格の統一化を図ることなど目的としています。

当日はパック詰めを常時行っている女性の生産者が多く参加し、他生産者のパック詰めと自分との違い、パック全体の色合い、果形、下段の品質を確認した後、実際に食し、酸味・食味を個々

で記入し審査しました。

参加した部会員は「消費者が手に取ったパックを販売棚に返さないように、品質向上を心がけ、イチゴに自信を持って出荷していきたい。信用が一番」と語っていました。

部会は1月14・15日、関西で消費宣伝会を行い、し玉をカットしないでし玉まるごと試食してもらいました。その結果、品質・食味ともに評価が高く、1日で1000パック(1パック300g)ほどが売れました。

同部会は「コールドチェーン」(途切れることなく低温に保つ物流方式。低温流通体系)にも取り組んでおり、出荷物を外気温に当てず、8度以下で低温管理し、検査等の作業にかかる出荷時間を出来るだけ早く行い、痛み果をなくす態勢を取っています。



評価が高かったショッピングセンターでの「消費宣伝会」

「100歳弁当コンテスト」入賞祝賀会開催 J A阿蘇女性部



入賞祝賀会に出席した関係者の皆さん

昨年10月に行われた「あなたに届ける健康寿命100歳弁当コンテスト」で、J A阿蘇女性部小国郷支部が出品した「ヘルシーアラフォー弁当!!」の入賞祝賀会が12月27日、小国郷中央支所で女性部員やJ A関係者ら約30人が参加して開かれました。

このコンテストは食文化史研究家の永山久夫先生が提唱する「5色を食べる達人が一番」を、それぞれの地域にあった自分たちのものとして普及・定着させることを目的に初めて開催された

ものです。入賞した「ヘルシーアラフォー弁当!!」は地元の採れたて野菜をふんだんに使い、薄味にしたのが特徴です。全国で39作品が応募され、県内で唯一の受賞となりました。

受賞した小国郷支部の長谷部マチ子さんは「今回の受賞で満足するのではなく、支部目標のチャレンジ精神を忘れず、新たな活動を進めていきたい」と熱く抱負を語っていました。



写真上=ヘルシーアラフォー弁当!!
写真右=弁当の説明をする長谷部さん

■久木野支部フレッシュユミズ

親子でクリスマス
オーナメント作り



JA阿蘇フレッシュユミズ久木野支部（今村雅美代表）は12月1日、久木野支部管内の親子を対象にクリスマスオーナメント（写真＝右）作りをしました。当日はフレッシュユミズ部員や管内の親子23人が参加しました。同支部のフレッシュユミズの立ち上げは昨年10月。JA阿蘇では4番目で、女性部の次世代を担う組織として期待されています。

参加した親子からは「難しかったけど楽しく作ることができた。市販のものより自分で作った方が思い出にもなる」との感想がありました。当日はオーナメントのほかにクリスマスケーキも作り、クリスマス気分を一足早く味わいました。

担当職員は「今後はフレッシュユミズの部員を増やして、活動の輪を広げたい」と語っていました。

■白水・久木野・長陽3女性支部

バスタオルを活用して防災頭巾



JA阿蘇女性部白水・久木野・長陽の3支部は1月17日、南阿蘇村でバスタオルを活用した防災頭巾作りを行い役員16人が参加しました。この防災頭巾は万が一の備えとして「家の光」1月号で紹介されていた「ほどけて使える防災頭巾」を参考に、頭巾の中には着替えなどの身の回り品のほか、保険証のコピーなど避難先で役に立つものが入るようになっていきます。参加者からは「大震災以降、防災について考えることが多くなった。いつ自分たちの所でも万が一のことが起こるか分からないので、支部活動の中でも紹介していきたい」と話していました。



3支部は今後も防災について考え、自分たちで出来ることや防災用品の作成などもしていきたいとしています。

写真上＝完成した頭巾をかぶった3支部の皆さん
写真右＝頭巾を縫う支部員
写真下＝頭巾の中に縫い込まれた身の回り品

■フレッシュユミズ高森支部

高齢者の身体状況を疑似体験



90歳に近い状態にして車いすを体験

高齢による身体的機能の低下を体感することで、高齢者の身体状況、心理状況を理解していきこうと、JA阿蘇フレッシュユミズ高森支部は1月25日、高齢者疑似体験を行い、部員5人が参加しました。

当日は同町社会福祉協議会の甲斐百合さんの指導のもと、視覚や聴覚障がい体験のほか、手足におもりをつけ、90歳の年齢に近い状態にし、歩いたり、階段の昇り降りや車いすの乗り降りなどを体験しました。

普段はテキパキと仕事や家事をこなしている部員たちですが、思うように体を動かせず、周りに助けを求める姿も見られました。同支部の山室智子代表は「この体験を通して高齢者の大変さ、辛さなど身をもって実感することが出来ました。自分たち出来ることから積極的に手助けをしていきたいです」と話していました。

また、体験後には、指編みマフラー作りも行われ、最初はぎこちない手つきながらも徐々に慣れ、後では育児の話題などで盛り上がりながら、もくもくと編んでいました。

同支部は今後も介護保険制度や認知症など、知識習得のため様々な学習会を行うしていく予定です。

（関連写真裏を次頁にも掲載しています）



完成した指編みマフラー



手足におもりをつけての疑似体験



社協の甲斐さんの話を聞く支部の皆さん

工藤保雄組合長や農林中央金庫職員らが審査にあたり、競技の結果、阿蘇町中央支所の木村紗央里職員(写真右)が最優秀賞に、優秀賞には蘇陽中央支所の春日睦子職員と長陽支所の坂井優也職員が選ばれました。最優秀賞の木村紗央里職員は2月4日ウイングまつばせで行われた「JAバンク熊本窓口ロールプレイング大会」(JAバンク熊本主催)に出場しました。

JA阿蘇は12月10日、一の宮中央支所で「信用窓口ロールプレイング大会」(窓口対応コンクール)を開き、各店舗から10チームが参加しました。あらかじめ設定された事例に従い、JAカード(二体型)や定期積金、定期貯金の満期解約と継続推進などについて、日頃窓口で対応している技術を競い合いました。

最優秀賞に阿蘇町中央支所
木村紗央里職員



JA阿蘇信用窓口
「ロールプレイング大会」

「JAバンク熊本第9回窓口ロールプレイング県大会」が2月4日、ウイングまつばせで行われ、県下JAの予選を勝ち抜いた11チームが出場。JA阿蘇からは阿蘇町中央支所の木村紗央里職員と坂梨英俊金融課長のペアがテラー役(窓口対応係)と上司役として



写真上下=JA阿蘇の木村職員と坂梨金融課長ペア

「窓口ロールプレイング県大会」
惜しくも入賞を逃す



写真左から坂井優也職員、木村紗央里職員、春日睦子職員

同コンクールは県下JAからエントリーされた14店舗を対象に、定期積金やJAカード、年金やローン等のセールス件数ほか、農林中金職員による窓口対応や店舗美化点検により審査されました。小国郷中央支所は2月4日、宇城市のウイングまつばせで行われた「窓口ロールプレイング県大会」会場で表彰(写真右)を受けました。

組合員・地域住民の多様なニーズに窓口対応のレベルアップと活性化を図ることを目的に、JAバンク熊本の「窓口セールスコンクール2017」で小国郷中央支所が4位に入賞しました。

小国郷中央支所4位入賞



出場しました。トップバッターとして出場した木村職員らは、用意された設例をもとにJAカードの利用促進や給振口座の獲得など、お客様役に分かりやすく明快な口調で説明。すばらしい演技を披露しましたが、惜しくも今回は入賞することが出来ませんでした。

「まるごとあそっこスクール」開校式

「あそっこ田んぼ」で作った もち米でもちつき

修了式で、工藤校長先生よりあそっこに
修了証書ともち米5kg贈られる

あそっこ田んぼ
もちつき

12月17日、「まるごとあそっこスクール」の開校式が営農部で行われました。昨年5月から始まった「あそっこスクール」もいよいよ開校式を迎え、当日はあそっことその保護者ら約50人が参加しました。

最後の活動は「あそっこ田んぼ」で作ったもち米を使ってのもちつき。JA青壮年部の指導を受けながら杵を振り下ろすと、周りから「よいしょー!」と声援が送られました。そして全員でもちを丸め、きな粉もちや鏡もちを作り、お互いに比べあつたりしていました。昼食はJA女性部が作ったぜんざいをおいしそうに食べました。

修了式では工藤保雄校長先生よりあそっこひとり一人に修了証書ともち米5kgが記念品として贈られ、内牧小6年の吉本優真君が、元気にあそっこ代表のあいさつをしました。あそっこ達は「来年もまた参加したい」と笑顔で話していました。

大事な思い出は
「もち米」



もちをこうして丸めるのよ★



良くがんばりました!!

どうもうまそな
おもちでしよう!



昼食はあったかいぜんざい♥



みんな笑顔で「ハイ!あそっこ!!」

農業用水保全の啓発看板を設置
＝水土里ネット阿蘇＝



写真上＝啓発看板の除幕
写真中＝水土里ネットの吉田さんの話を聞く児童
写真下＝設置された看板を興味深く見る児童ら

水土里ネット阿蘇(阿蘇土地改良区)は2月1日、阿蘇市乙姫小周辺の水源地に「森が育む、きれいな空気と豊かな農業用水」をテーマにした啓発看板(写真1左)を設置し、地元区長や乙姫

小4年生の児童など約20人が参加して除幕式を行いました。これは、水源地域における森林の役割や現状を理解してもらうため、農業用水水源地域保全対策事業の一環として、平成19年度から啓発看板の設置に取り組み今回で7基目です。高さ18m・幅19mの看板

習の一環として自然環境やホタルの生態について勉強しており、設置された看板を見て「すーい」などと歓声をあげ、興味深く見入っていました。除幕式後には、水土里ネットの吉田茂成さんが森林の役割などについて説明し、児童らは真剣に耳を傾けていました。吉田さんは「森林が農業用水としても重要な役割があることや、ホタルが好む水環境を維持していくために川を汚さないよう理解を求めていきたい」と話していました。

子の部で出場したJA阿蘇チームが見事、初優勝を果たしました。同大会は九州各県のJA役職員がスポーツを通じ、体力及び精神力の向上を図るとともに、相互交流を深めることを目的に九州5県から男女合わせて18チーム260人が参加。予選を順調に勝ち進んだJA阿蘇は決勝リーグでJA筑前あさくら(福岡)とJAはまゆう(宮崎)とそれぞれ対戦。激戦の結果、念願の初優勝を果たしました。主将を務めた営農部園芸課の松田浩幸職員は「少ない練習時間で不安もあったが、優勝できてとてもうれしい。次は2連覇を目指して頑張りたい」と抱負を語っていました。



には、水循環の流れや森林の働き、ホタルの生態系などが描かれています。乙姫小4年の児童らは総合学

JA阿蘇チーム念願の初優勝
九州地区JA役職員バレーボール

「第8回九州地区JA役職員バレーボール大会」が12月10日、鹿児島県の始良総合運動公園体育館で行われ、男



念願の初優勝を果たしたJA阿蘇チーム

「未来塾」で研修成果発表
三苫真弓職員(小国郷中央支所)



JA熊本中央会主催の「JA戦略型中核人材育成研修会『未来塾』」の修了レポート発表会が1月20日、JA熊本教育センターで行われ、小国郷中央支所共済課JA係の三苫真弓職員(写真)が研修の成果を発表しました。

この研修会は今後のJA運営を担う中核となる人材育成を目的に、各JA推薦の研修生19人がさまざまな考え方やノウハウを身に付けるため、昨年5月から10回、延べ25日間の研修を受けてきました。当日は各JAの役員や上司など約70人が参加。7分間ずつのプレゼンテーションに研修生らはパワーポイントを使い、JAがとるべき戦略やその実践具体策を力強く発表しました。三苫さんは「エコ活動への取り組み」と題して、深刻な環境問題に対し地域を巻き込んだ環境保全活動へ向けて、JAとしてどう取り組んで行くかについて発表しました。

理事会・監事会報告

■平成23年度第12回理事会

日時 平成23年12月16日午後3時

場所 熊本交通センターホテル

1. 開会
2. 組合長挨拶
3. 協議事項

委員会報告(債権管理委員会)

11月末実績報告について

- 1) 資産査定要領(案)について
- 2) 平成23年上期決算監事監査報告書について
- 3) 貸出金について

報告事項

- 1) 役員の利用状況について
- 2) 理事会及び専門委員会の報告事項について
- 3) 年末年始休日の緊急連絡先について
- 4) 仕事納めに伴う支所巡回並びに新春の年賀について
- 5) 年末年始の業務等について
- 6) 平成23年度導入家畜欄即監査実施要領について
- 7) 平成23年度JA共済コンプライアンス点検結果および改善方針の概要について

- 8) 平成23年度共済推進実績(直近)について

4. 閉会

■平成23年度第13回理事会

日時 平成24年1月30日午後1時30分

場所 一の宮中央支所会議室

1. 開会
2. 組合長挨拶
3. 協議事項

委員会報告(経済専門委員会・総務専門委員会)

12月末実績について

- 1) 信用事業方法書組織規程の変更について
- 2) 平成23年度上期決算事務監事監査回答書(案)について
- 3) 全国監査機構平成23年度決算監査期中改善指示書について
- 4) 購買未収金取扱要領の改正及び購買未収金金利について
- 5) 役員等定数検討諮問委員会の答申について

6) 貸出金について

7) 産山・波野地区給油所建設について

報告事項

- 1) 平成23年度JA阿蘇コンプライアンス・プログラムの進捗状況について(12月末)
- 2) 不祥事未然防止の為の行動計画23年12月末進捗状況について
- 3) JAマイカーローン「輪軸スプリングキャンペーン2012」の金利設定について
- 4) 農業生産資金(農機具購入)および農機ハウスローン金利設定について
- 5) JA教育ローン「希望」キャンペーン実施に伴う特別金利の設定及び振込手数料の減免について
- 6) 平成23年度決算監査(期中Ⅱ資産査定等)の実施について
- 7) JA阿蘇活動総合3ヶ年計画の23年12月末進捗状況について
- 8) 平成23年度産米集荷状況について
- 9) 平成23年度共済推進実績(直近)について

4. 閉会

●平成23年度第10回監事会

日時 平成24年1月16日(月)午後3時00分

場所 本所2階第1会議室

1. 開会
2. 挨拶
3. 議題

- 1) 平成23年度導入家畜等欄即監事監査実施について
- 2) その他

- ①平成23年度全国監査機構決算監査期中改善指示書について
- ②平成23年度全国監査機構決算監査(期中Ⅱ(資産査定))について
- ③平成23年度期末監事研修会の開催について
- ④平成23年度JA上半期決算状況調査集計表について
- ⑤行事予定表について

4. 閉会



JA阿蘇職員異動のお知らせ

氏名	新 評 令	発令年月日	旧 評 令
山中 敬夫	共済部長兼業務課長	平成23年10月20日	共済部長
瀧口 昇	一の宮中央支所購買課一の宮給油所係	平成24年2月1日	西原支所購買課西原給油所係

理事会・監事会報告

- 3) 平成23年度上期決算事務監事監査事務手続きについて
- 4) その他
4. 閉会

■平成23年度第10回理事会

日時 平成23年10月28日午後1時30分

場所 一の宮中央支所会議室

1. 開会
2. 組合長挨拶
3. 協議事項

平成23年度上期決算実績報告について

- 1) 農作業安全委員会設置要領(案)について
- 2) 阿蘇市の施設における指定管理者の更新について
- 3) プリペイドカード未使用発行残高に対する
供託金増額について
- 4) 貸出金について

報告事項

- 1) 平成23年度上半期内部監査実施報告書について
 - 2) 2011年JA阿蘇総合展示会実施要領について
 - 3) JA阿蘇活動総合3カ年計画の23年9月末
進捗状況について
 - 4) 平成23年度JA阿蘇不祥事未然防止のための
行動計画の23年9月末進捗状況について
 - 5) 平成23年度JA阿蘇コンプライアンス・プログラムの
進捗状況について(9月末)
 - 6) 組合員の加入及び脱退の状況について
 - 7) 電化製品等の業務提携について
 - 8) TPP交渉参加反対総決起集会について
4. 閉会

■平成23年度第11回理事会

日時 平成23年11月29日午後1時30分

場所 一の宮中央支所会議室

1. 開会
2. 組合長挨拶
3. 協議事項

委員会報告(経済専門委員会)

10月本実績について

- 1) 貸出金について
- 2) 畜産近代化リース事業借受申請について
- 3) 職員年末賞与支給について

報告事項

- 1) 平成23年度共済推進実績(直近)について
 - 2) 役員研修について
 - 3) 23年度総合展示会実績について
 - 4) ハウスリース事業に伴う出資金の経過報告について
 - 5) ナス苗補償報告について
4. 閉会

●平成23年度第9回監事会

日時 平成23年10月20日(木)午後1時30分

場所 本所2階第2会議室

1. 開会
2. 挨拶
3. 議題

- 1) 平成23年度米麦等標印監査回答書について
- 2) 平成23年度上期内部監査実施報告書について

●平成23年度第10回監事会

日時 平成23年11月28日(月)午後1時30分

場所 本所2階第1会議室

1. 開会
2. 挨拶
3. 議題

- 1) 平成23年度米麦等標印監査回答書について
 - 2) 平成23年度上期決算事務監事監査報告書(案)について
 - 3) 平成23年度導入家畜等標印監事監査実施(案)について
 - 4) その他
4. 閉会



「お城巡りをしてみたい♡」

営農部営農企画課 庶務係 **高村 雪乃**
タカムラ ユキノ
(昭和63年10月生まれ=23歳)



入組して9か月、現在営農部の営農企画課で働いています。「まだまだ覚えることがたくさんあって苦勞しています」という高村さん。休日はよく友達や家族とドライブに行ったりしてリフレッシュしているそうです。

お城めぐりをしてみたいという高村さんは、実は歴史が大好きで、家のいたる所に歴史に関する本が置いてあるとか。(いわゆる歴女ってやつですかね…)

学生時代はバドミントンや弓道、吹奏楽と色々な事にチャレンジし、大学では中国語サークルに所属。中国語スピーチコンテスト熊本県大会では敢闘賞を受賞したこともあるそうです。初任給では母親に高級な(?)化粧品をプレゼントしたという高村さん。今度は旅行をプレゼントしようと考えているそうです。

理想の男性のタイプは金城武さん。理由は戦国武将のように男らしいところが好きという、どこまでも歴女な高村さんでした。

23年産米販売環境及び追加金の支払について

1:販売環境

①作況指数(10月15日現在、農林水産省調べ)

全国作況指数101「平年並み」、10a当りの予想収穫量は533kg、熊本県全体の作況指数101「平年並み」、予想収穫量519kg、阿蘇地域作況指数95「やや不良」予想収穫量483kgの見通し。主食用米の全国収穫量は813万4千トン、内熊本県19万3千6百トンが見込まれる。

②23年産米需給見通し(全農予測)

23年10月15日時点の全国の作柄・作付面積等に基づく23年産米の24年10月末在庫は23万トンになると予測されている。

③販売環境整備米の取扱い

本年7月以降、飼料用米への販売が凍結されていたが、需要に対し十分な供給量が確保できる見通しとなり、JAグループとしては、今後、国の政策をふまえて飼料用米等への販売を再開していく。

④放射性物質検査の状況

埼玉県を除く16都県の本調査が終了し、放射性セシウムが福島県で1件検出されたものの、その他の本調査では「検出せず(ND)」との公表がなされた。しかし本調査終了後に福島県において暫定規制値を大幅に上回る物が検出されたことにより検出された地域の出荷停止措置が発動され、今後も調査区域の見直し等の必要性が出てきた。

⑤暫定規制値の見直しの動き

10月31日に開催された食品衛生分科会において、厚生省から食品の放射性物質の暫定規制値見直しへ向けての考え方が示された。現行の暫定規制値は5ミリシーベルトを年間被ばく許容量として算定されているが、年間1ミリシーベルトを基本に考え方が示されていることから、新基準は非常に厳しい水準となる事が想定されている。

2:相対基準価格について

①相対基準価格の考え方について

年間を通じての需給環境は供給過剰が想定されるものの、放射性物質調査結果に対する風評被害や消費者意識が見逃せないこと、食品の放射性物質の暫定規制値見直しに向けた考え方が示された事等から、価格設定については動向を注視しつつ機動的に対応する必要がある。

②販売価格の設定

販売環境は先行き不透明な状況であることから、しばらく情勢を見極める必要がある。よって、しばらくは現状の相対基準価格を維持する。

現行相対基準価格	コシヒカリ	15,800円
	ヒノヒカリ	14,800円

3:追加金の支払について

現状の相対基準価格を維持し未契約分の早期販売を目指し、現行販売価格を基に最低平均価格と思われる販売価格で試算し、**全うるち銘柄 等級間格差無し**の同額で12月末に追加金を支払いました。

追加金 1,020円/60kg

※23年産米仮渡金(内金+追加金) 特裁コシヒカリ1等の場合 13,020(内金)+1,020(追加金)=14,040円

退職者表彰「永きにわたりご苦労様でした」

JA阿蘇は10月18日、平成23年9月30日で定年退職された蔵原鈴子さんの表彰式を本所で行いました。岩下常務から蔵原さんへ感謝状と記念品が贈られ、永きにわたりJA職員として組合運営に貢献された功績をたたえ、その労をねぎらいました。

蔵原さんは「今まで駆け足での生活だったので、今後はゆっくりと時間を過ごすスローライフを楽しみたい」と話していました。



2011

JA貯金

うまかもん キャンペーン

平成23年

平成24年

期間 11月1日火～1月31日火



JA貯金でスマイル。

熊本の
うまかもんを
ゲットしよう
!!



JAの商品券3,000円分を
県下で1,200名様に抽選でプレゼント!!

※当選者への通知をもって、発表にかえさせていただきます。



商品券はファーマーズマーケットやEコマース等でご利用できます。

※一部利用できない店舗もございます。詳しくは店舗もしくはJAへお問い合わせ下さい。

対象商品 定期貯金10万円以上(期間1年以上)の新規ご契約もしくは増額書替えの個人のお客様

- ・期間中に対象商品ご契約のお客様に10万円(増額書替えの場合は増額金額)を1口として抽選券を1枚お選します。
- ・また、JAカードご契約の方、給与・年金をJAでお受取りになられている方(これからお申込みいただける方を含む)へはさらに抽選券を1枚お選します。
- ※期間内であっても、抽選券がなくなり次第、キャンペーンは終了とさせていただきます。
- ※抽選日時時点で、中途解約をされている場合は、お持ちの抽選券は無効となります。 ※当選商品は現金との引き換えはできません。

詳しくは店舗またはHPでご確認ください

クミアプロパンでは、 太陽光発電のご紹介をしています。

あなたのライフスタイルに合ったエネルギー
「太陽光発電+LPガス」を考えてみませんか。

電気とガス使い分け 上手に賢く節電

家庭の電気は太陽光で
(家電製品・電灯等)

余った電気→売電

家庭の生活エネルギーは
ガスで台所・風呂・暖房



更に LPガス クミアプロパンは安全・安心 あんしんキャッチ24



(株)JA-LPガス情報センター
020-120-182-571
413-0204-010
TEL020-120-182-571

○低価格で割増電気があります。
○エコガソリンで車スタンプラリーに参加できます。
○遠征先でもお料理として使えます。

※広域圏外には有線タイプと無線タイプの2種類があります。

「太陽光発電+LPガス」Q&A

Q1:太陽光発電の設置費用はいくら位かかりますか？

A1:1kw当たり55万円～60万円(平均57万円) 熊本の平均は4.4kw
4kw設置の場合……4kw×57万円⇒228万円
補助金:24.2万円……4kw×4.8万円(国の補助)+5万円(県の補助)
228万円-24.2万円⇒203.8万円

※取付一面工事で電気工事が一般的な場合

国の補助
1kwあたり

4.8万円

熊本県の補助

一律5.0万円

平成23年度
売電価格

42円/kwh

別注:市町村からの補助金も受けられる場合もあります。

Q2:オール電化に対するLPガスの優位性はなんですか？

A2:災害時の復旧が早く、停電時でもガスコンロが使えます。
CO₂の排出も少なく環境にやさしいエネルギーです。

Q3:ガスは安全なのかしら？

A3:当社では、電話回線・携帯電話網を利用したあんしんキャッチ24が
24時間体制で、お急ぎに異常をお知らせします。

あんしんキャッチ24の特徴

- 1.ガス漏れをすばやくキャッチし、ガスを遮断する事で事故を未然に防止します。
- 2.一定時間を経てガスが抜いなくなった場合にはセンターより安全確認を行いますので漏れ忘れの弊も安心です。
- 3.LPガスの残量を自動的に管理しているためガス切れの心配がありません。

※JA・例エコーコープ熊本が、太陽光発電の売電を無料で無料にてご提案致します。
その他、新築工事・住宅のリフォーム工事等の相談も受け付けます。

お気軽にお問い合わせください。

JA・JA熊本経済連

熊本クミアプロパン株式会社

本社/〒860-0831 熊本市人王寺町2-10

TEL.096-373-2010 FAX.096-373-2024

http://www.jakk.or.jp/kumipro/



担当

熊本経済センター TEL.096-373-1981
熊本市経済センター TEL.0964-33-6583
熊本市経済センター TEL.0967-22-1455
熊本市経済センター TEL.0966-45-0177
熊本経済センター TEL.0968-22-4822